

市政を問う！

一般質問Q&A

くらし・安全



空き旅館、
廃旅館への
防火対策

川又 康彦



Q 持ち主が市内にいない空き旅館、廃旅館での不審火が続いているが、どのような防火上の対策を取っているのか。

A 空き旅館などの管理状況を把握するため、定期的に窓ガラスの破損など建物内に侵入される恐れがないか、建物外周に燃えやすいものがないかなど、管理状況調査を実施している。

また、飯坂温泉で発生した2件目の火災発生翌日の5月22日から、消防署、地元消防団、警察署が連携して夜間巡回警備を実施し放火されにくい環境作りに努めている。

なお、空き家関係部局と連携し、所有者などに対する注意喚起を行い適切な管理を要請していく。

その他の主な質問

○※チャットGPTの活用

○部活動の地域移行

○動物愛護の各種ボランティア

※アメリカのベンチャー企業が開発したAIとの対話ソフト。質問を入力するだけですぐに自然な回答が返ってくる。幅広い分野で活用が想定され、企業などでの利用が広がっている。

行財政



平和事業

丹治 誠



Q 今年開催の人権と平和展の際に被爆体験の語り部の招致など、平和宣言50周年記念の関連イベントを実施すべきでは。

A 本市の平和宣言から50年の節目を迎える今年の人権と平和展では、3つの関連イベントを新規企画している。まずは、広島市から被爆体験伝承者を招いての平和講演会の開催、次に、被爆体験者の証言を基に広島市の高校生が描いた原爆の絵の展示、また、福島大学環境放射能研究所の協力によるロシア侵攻前のウクライナの写真展示を行う。

国際情勢が不安定さを増す中、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識していただける機会とする。

その他の主な質問

○朝河貫一博士を顕彰する事業

○古閑裕而氏作曲の広島、長崎と由来のある曲の展示

○（仮称）もりのあひ認定こども園化による定員増の私立幼稚園への影響

文化・スポーツ



ふくしまシティ

ハーフマラソン

石山 波恵



Q 成果や課題を踏まえ、より良くしていくための見解は。

A 今回予想を超える企業・団体から協賛を得て、ボランティア、応援隊、市民が一体となって全国に魅力を発信できた。

市民の自発的な参加でこのような形を実現できたことは大変感謝している。課題については関係者と共有し、次回開催に向けて参加者目線でブラッシュアップを進める。

他の大会と比較すると女性の参加が少なく、もっと女性やお子さんにも参加しやすい仕掛けや参加のすそ野を広げていく取り組みも必要と考える。

全国から多くのランナーが集まる本市の象徴的なスポーツイベントとなるよう目指す。

その他の主な質問

○福島駅東口再開発ビルのバンケット機能

○来春の観光戦略

○もりのあひサイクルのヘルメット着用対応策

産業・経済

地域おこしに

関わるお酒

石原 洋三郎



Q 市としての関わり、支援策は。

A 純米吟醸「あらかわ」は、荒川区の職員や住民の方々の田植え、稲刈りへの参加、荒川区の協力を得て新酒完成PRや協力店への販売促進活動を支

援している。

純米吟醸「精一杯」は、銀座ミツバチプロジェクトや市の地域振興団体と連携し、田植えと稲刈りの体験ツアーの受け入れ、地元中学校と連携した田植えにも協力している。

土湯温泉町地区のどぶろくや吾妻地区のワイン造りでは、地域おこし協力隊による地域一体となった酒づくり、大笹生地区のブルワリーでは、支援事業により醸造設備や販売・飲食ブースを新設しており、今後も地域とのつながりによる酒づくりを支援し、販路拡大などに協力していく。

その他の主な質問

○山菜の出荷状況

○ユズの再生に向けた再興策

○古閑裕而記念館入館料の優遇措置



果樹剪定枝の焼却

阿部 亨



Q 野焼きによる焼却を条件付きで認めるべきでは。

A 病害虫による被害を受け、被害拡大を防ぐ手段が、園地で剪定枝を焼却する以外になく真にやむを得ない場合は、特例的に認められるものとし、焼却の際は煙や臭いなど周辺環境に配慮いただくことをお願いしている。

しかし、農作業に伴う野焼きは、煙が隣接する住宅地に流れるなどの通報が寄せられ、また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律においてもやむを得ないとされる場合を除き認められない。

その他の主な質問

- 公設地方卸売市場施設再整備計画の進捗状況
- ゆうやけベリーのブランド化
- ふくしまシティハーブマラソンの特徴

福祉・健康



乳がん検診
梅津 一匡



Q 早期発見・早期治療につなげるため35〜39歳を対象に、市独自で乳がん検診の対象年齢を拡充すべきでは。

A 乳房内の乳腺が発達している40歳頃までは、乳がん検診で実施している乳房X線検査、マンモグラフィでは乳腺が白く写ってしまい、異常がわかりにくいいため、国の指針に基づき検診年齢を40歳以上としている。

技術的課題もあることから、現時点では30代への検診拡大は考えていないが、若い頃から自分の乳房の状態に関心を持つ生活習慣、ブレスト・アウェアネスの重要性を認識してもらうセミナーなどの取り組みを強化する。

また、乳房に異常を感じた場合に専門医療機関への早期受診につながるよう、積極的な周知・啓発に努める。

その他の主な質問

- 公共施設の工事現場見学会
- 仕事と子育てを両立できる職場環境の整備
- 電動キックボード利用時の交通法規の遵守

マイナンバー



の重大事案
村山 国子



Q 保険証や通帳への登録において別人とひも付けされる重大事案が続出している。

別人の情報に基づいて医療行為や薬剤投与が行われてしまうのでは。

A 全国的にマイナ保険証の別人へのひも付けが行われた事案が発生していることは、重大な事案と捉えている。

国からの通知により、資格情報の総点検の実施と事務処理の取扱いが示されたことから、市としても対応してきた。

また、国においても、医療や投薬に係るデータの総点検を実施していることから、今後は適切に事務処理がされると認識しているが、引き続き適切な運用を行うよう国に対して働きかけていく。

その他の主な質問

- 国民健康保険税の子どもの均等割減免
- 蓬萊地区の道路法面の除草
- マイナ保険証の短期被保険者証・被保険者資格証明書

子ども・子育て



遊び場の充実
後藤 善次



Q 比較的市街地に近い場所に幅広い年齢層が利用できる屋内型の子どもの遊び場を設置してはいかがか。

中心部に屋内施設が求められる背景には、暑さ寒さの振幅が大きくなっている中で、快適に遊べる屋内が求められることと利用者ニーズとのミスマッチがあるかと思われる。

中心部の施設としてこむこむ館があるが、新鮮味が薄くなってきたことや駐車場がないことから、中心部の拠点の遊び場としてあまり評価されていないのではないかと考えている。

しかしながら、将来世代の負担を増やさないよう施設全体として縮小に取り組んでいるところであり、こむこむ館の再生により、中心部の遊び場需要に対応していきたい。

こむこむ館では、遊び場としての機能のリニューアル、子どもライブラリーと喫茶との融合、駐車場の確保を図っていきたいと考え、検討を始めていく。

ふくしま田園中枢都市圏全体で見ると、全国的にも子どもの施設が集積した非常に充実した地域になっているので、(仮称)ふくしま圏域親子deおでかけマップとして取りまとめ、子育て世代に広域的な利用を促す予定である。

その他の主な質問

- マイナンバーを使った投票用紙の電子申請
- (仮称)市民センターの現場体験見学会
- 障がい者の情報格差解消

まちづくり



福島駅東口地区
第一種市街地
再開発事業
斎藤 正臣



Q バンケットを整備し誘致するべきでは。

A 再開発ビルの中にバンケット機能を組み込むことは現在できない状況だが、経済活動の回復に伴い、会食需要も回復傾向である中、駅周辺でのバンケット機能の早急な充実が必要であるということは、市も経済界も認識が一致しており、今後、経済界とも連携しながら、駅周辺におけるバンケット機能の強化に取り組むとともに、必要に応じて政策的な誘導を含めて検討していきたい。

ケータリングサービスは活用できるように考えており、その場合、会食する場合は、会議室を使えばできるが、配膳場所や一定の動線などが必要となる。再開発ビルの機能のなかで対応できるようにしていきたい。

その他の主な質問

- 福島駅東口まちづくりの担い手
- 福島駅前交流・集客拠点施設の管理運営主体選定の競争性確保
- 福島駅東口路外駐車場の現況



ジエンダー教育

佐原 真紀



Q 女子児童・生徒のスラックス着用に対する見解は。

A 市の小・中学校で女子児童生徒のスラックス着用を認める学校は徐々に増えている。

スラックスの着用は、気候や動きやすさなどの機能性もとより、ジェンダー平等の観点から選択の幅を広げることが重要であり、引き続き、児童生徒、保護者の思いなど、多面的な視点で検討することが大切である。

その他の主な質問

- 小中学校の性教育の課題
- ふくしまシティハーフマラソンの反省点
- 選挙公報の配布先の拡充



修学旅行の引率に伴う教員の施設入場料

小熊 省三



Q 自己負担となっている拝観料・入場料を使用料及び賃借料として予算計上すべきでは。

A 市では、修学旅行の引率に伴う教員の施設入場料などについて、教員の自己負担となっている。

今後、現状の把握に努め、予算措置について検討する。

- その他の主な質問**
- 就学援助における修学旅行費の支払い
 - 核兵器廃絶平和都市宣言を知らせる掲示物
 - 生活保護受給者の自動車保有



小中学校

トイレへの生理用品設置

佐々木 優



Q モデル校実施の所感は。

A 生理用品をトイレ内に設置することについて、衛生面の懸念があったがいたずらもなく、衛生的な環境を保持することができた。

アンケート結果から、生理の貧困など経済的な理由との関連は低いと捉えているが、これまでの保健室の利用と比べると多くの利用があった。自分のものを使つたから利用していない生徒が多い反面、生理用品の配置場所については、多くの生徒がトイレの個室がよいと答えるなど、評価が難しいもののトイレに生理用品を設置する必要性はあるものと考ええる。

学校への衛生用品設置に関する検討委員会を立ち上げ協議した結果、他の中学校の実態も早急に調査すべきとの意見があったことから、学校トイレへの生理用品設置にむけた調査を至急実施していく。

その他の主な質問

- 小中学校トイレへの生理用品設置、他自治体の事例研究
- 小中学校への性教育出前授業実施
- 性の多様性・パートナーシップ制度

市議会の議論をぜひご覧ください

福島市議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議を傍聴いただける人数を制限しておりましたが、6月定例会議より元の定員に戻し、本会議は一度に64名までご覧いただけることとなりました。氏名や住所の記入などの手続きは不要で、市役所7階議会事務局前の受付で傍聴証をお受け取りいただければ傍聴いただけますので、ぜひお越しください。なお、会議の日程などは議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ホームページをご覧ください。

緊急会議を開催 速やかな対応が必要な議案を審議

4月25日に緊急会議を開催し、本市初の義務教育学校として令和7年4月の開校を予定している松川地区義務教育学校の工事請負契約の件と物価高騰対策としての低所得の子育て世代・住民税非課税世帯への特別給付金や小中学生の学校給食費支援のための補正予算など、速やかな対応が必要な議案などを審査し、提出された議案はすべて可決されました。

緊急会議で可決された議案による主な事業

●工事請負契約（松川地区義務教育学校）

※義務教育学校とは：1人の校長の下で、1つの教職員組織が小学校から中学校までの9年間の義務教育課程を一貫して行う学校の形態。

- 子育て世帯生活支援特別給付金
- 住民税非課税世帯等生活支援特別給付金
- 福島型給食推進事業の拡充

